

文武両道

「今年の抱負」を目に見る形に

1月12日(木)に始業式を行い、1年間のまとめとなる3学期が始まりました。2023年、東日本大震災の年から干支も一回り、12年が過ぎたのかと、時の流れを感じます。

登校する日数は40日余り、3年生は進路を決めた上でこの一中を巣立つ準備、1・2年生は3年生を送り出す準備・新入生を迎える準備をする学期です。この学び舎で共に過ごす時間は限られています。3年生と1・2年生、お互いへの感謝の気持ち、「ありがとう」の言葉、4月から始まる新ステージへのエールで校舎が満たされる、それが3学期です。

始業式では「抱負」=「目標&達成プラン」であること、「〇〇達成のために**をする」のように具体的に書き出して、いつでも自分の目に入る所に置いてみることを話しました。皆さんの新年の抱負、後で聞きますので胸を張って答えられるようにして下さい。

式の中では、生徒代表として生徒会執行委員の白砂美晴さん(1年)から3学期の決意が述べられました。3学期の主な活動を取り上げ、その目的と取り組み方について具体的に発表してくれました。壇上の生徒会リーダーにしっかりと目を向け、真剣に聞いている姿がとても印象的な始業式でした。



50年の時を超えて(一本木さんさ)

1/19(木)午後、滝沢市さんさ踊り保存会・会長の角掛則浩さん(一本木出身)と、南一本木の伊東節子さんをお招きし、「一本木さんさの歴史を学ぶ会」を開催しました。

12~3年前に復活させ、平成29年度には全国中文祭に県代表として出場した「一本木さんさ」。当たり前のように普段から全校で踊っていますが、どんな気持ちで踊っているのか。全員が「一本木さんさ」に共通のイメージ・想いを持つことができれば、一中生の一本木さんさはさらに進化できると思い、今回の学ぶ会を開きました。

50年の空白を埋めるのは簡単ではありませんが、現実に踊り自体は復元され(7つあった中の5つ)一中生が受け継いでいます。伊東さんですら、「親が踊っていたのを見たことがある」という踊りが復活されていることが驚きです。大正・昭和の頃の一本木を色々想像してしまいます。

来年度の地区&県中文祭に向けて、もっともっと「一本木さんさストーリー」を追求していきたいと思います。



「一本木さんさ」復活のきっかけとなった写真(S24)

※「一本木さんさ」についての情報募集中です。どんなことでも構いません。中学校までお電話下さい。☎688-4634

学習コンクール始まりました

基礎力アップと家庭学習の充実を目指し、生活学習委員会主催で定期的に取り組んでいる「学習コンクール」が今学期も始まりました。今回の教科は英語、基本的な動詞を全学年共通で50問朝読書の時間と家庭学習で練習し、テストではその中から25問出題されます。

英単語は実際に使ってみないとなかなか頭に残りません。友達同士で工夫しながら全員で満点を目指しましょう。



2月~3月の主な行事予定

- 31日(火) 全校朝会・SC 出勤日・小学生体験入学
- 2月3日(金) 思春期保健講演会
- 6日(月) 公立高校一般出願開始
- 8日(水) 第3回教育振興協議会
- 13日(月) ノーメディアデー(~19日)
- 14日(火) 全校朝会・公立高校出願調整・SC 出勤日
- 15日(水) 新入生保護者説明会
- 16日(木) 期末テスト(音楽)・職員会議
- 17日(金) 期末テスト(英国数体)
- 20日(月) 期末テスト(理社美技家)
- 21日(火) PTA 執行部会・理事会、学校保健委員会
- 24日(金) 修卒認定会議
- 27日(月) 期末大清掃(~3/3)
- 28日(火) 全校朝会・SC 出勤日
- 3月7日(火) 公立高校一般受検
- 14日(火) 卒業式
- 15日(水) 修了式・公立高校合格発表
- 23日(木) 離任式



